

平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	689	15.3	△8	—	△4	—	△20	—
23年11月期第1四半期	597	△5.8	△39	—	△36	—	△34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年11月期第1四半期	△7.26	—
23年11月期第1四半期	△12.34	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年11月期第1四半期	7,690	6,755	87.8	2,395.80
23年11月期	7,691	6,821	88.7	2,419.12

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 6,755百万円 23年11月期 6,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年11月期	—	0.00	—	17.50	17.50
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	0.00	—	17.50	17.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	1,477	4.8	35	△11.6	37	△18.5	10	118.9	3.68
通期	2,824	4.6	44	152.9	48	77.8	10	—	3.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	3,339,995 株	23年11月期	3,339,995 株
24年11月期1Q	520,091 株	23年11月期	520,091 株
24年11月期1Q	2,819,904 株	23年11月期1Q	2,819,904 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間（自平成23年12月1日至平成24年2月29日）における日本経済は、欧州の金融不安や歴史的な円高による影響等により、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いたものの、生活関連需要が底固い推移を示す等、震災以来低迷していた消費マインドに回復の兆しがみられました。

一方、当社の関連するアウトドア関連産業では、ラニーニャ現象による気温低下や、震災以降のワールドの復旧状況、一部地域での放射線の風評被害等、これら事象の影響の多寡により、景況が左右される展開となりました。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的な新製品の投入ならびに営業活動を行ってまいりました。その結果、当第1四半期の売上高は6億89百万円（前年同期比15.3%増）となりました。また、売上高の増加の一方、販売費及び一般管理費を抑えたことが影響し、営業損失は8百万円（前年同期間 営業損失39百万円）、経常損失は4百万円（前年同期間 経常損失36百万円）となりました。なお、四半期純損失は法人税率の変更等による影響もあり20百万円（前年同期間 四半期純損失34百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、一部地域の釣り場に放射線の風評被害等の影響があったものの、一部フィッシングロッド（釣竿）のほか、フライ（毛鉤）用品の販売が堅調に推移いたしました。その結果、フィッシング事業の売上高は2億59百万円（前年同期比3.9%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同期比61.3%増）となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、12月以降、著しく気温が低下したことにより、男性衣料、女性衣料ともに防寒衣料を中心とした販売が順調に推移いたしました。その結果、アウトドア事業の売上高は4億27百万円（前年同期比24.0%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は20百万円（前年同期比852.1%増）となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期累計期間に関しては、不動産賃貸収入の減少により、その他売上高は2百万円（前年同期比23.5%減）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は2百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1百万円減少し76億90百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少1億14百万円や有価証券の満期償還による減少2億円の一方、季節的な影響による商品棚卸高の増加1億29百万円などにより、前事業年度末に比べ1億83百万円減少し、41億69百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の取得2億円の一方、長期繰延税金資産11百万円の減少や、有形固定資産の減価償却15百万円などにより、前事業年度末に比べ1億82百万円増加し35億21百万円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ64百万円増加し9億34百万円となりました。

流動負債は、仕入れが集中する季節的な影響により、支払手形及び買掛金が82百万円増加した一方で、未払費用の減少29百万円などにより、前事業年度末に比べ64百万円増加し7億21百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末とほぼ同額の2億13百万円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ65百万円減少し67億55百万円となりました。これは主に、四半期純損失20百万円の発生や、前事業年度決算の配当支出49百万円などによるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年1月19日発表の「平成23年11月期 決算短信（非連結）」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,551,437	1,437,205
受取手形及び売掛金	484,426	490,121
有価証券	1,314,003	1,113,916
商品及び製品	911,595	1,040,896
その他	92,409	88,389
貸倒引当金	△1,453	△1,470
流動資産合計	4,352,419	4,169,060
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	803,830	792,578
土地	2,011,097	2,011,097
その他(純額)	28,790	30,766
有形固定資産合計	2,843,718	2,834,442
無形固定資産	49,391	45,008
投資その他の資産	446,229	642,176
固定資産合計	3,339,340	3,521,627
資産合計	7,691,760	7,690,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	489,432	571,850
短期借入金	—	23,282
未払法人税等	12,730	6,463
返品調整引当金	19,311	9,843
賞与引当金	—	13,866
店舗閉鎖損失引当金	602	—
その他	134,740	96,309
流動負債合計	656,818	721,616
固定負債		
退職給付引当金	126,436	128,604
役員退職慰労引当金	48,721	50,905
その他	38,087	33,631
固定負債合計	213,244	213,141
負債合計	870,063	934,757

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,176,618	2,106,807
自己株式	△290,211	△290,211
株主資本合計	6,827,854	6,758,043
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,157	△2,113
評価・換算差額等合計	△6,157	△2,113
純資産合計	6,821,696	6,755,930
負債純資産合計	7,691,760	7,690,688

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	597,961	689,638
売上原価	328,342	376,956
売上総利益	269,619	312,682
返品調整引当金戻入額	18,069	19,311
返品調整引当金繰入額	7,478	9,843
差引売上総利益	280,209	322,150
販売費及び一般管理費	319,923	330,359
営業損失(△)	△39,713	△8,208
営業外収益		
受取利息	1,806	1,286
受取配当金	239	239
為替差益	560	1,507
その他	237	504
営業外収益合計	2,843	3,537
営業外費用		
支払利息	37	16
その他	5	12
営業外費用合計	42	28
経常損失(△)	△36,913	△4,699
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,501	—
特別損失合計	13,501	—
税引前四半期純損失(△)	△50,414	△4,699
法人税、住民税及び事業税	3,976	3,371
法人税等調整額	△19,587	12,391
法人税等合計	△15,610	15,762
四半期純損失(△)	△34,804	△20,462

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	249,837	344,334	594,171	3,789	—	597,961
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	249,837	344,334	594,171	594,171	—	597,961
セグメント利益又は損失(△)	27,464	2,168	29,632	3,210	△72,556	△39,713

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△72,556千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	259,703	427,034	686,737	2,900	—	689,638
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	259,703	427,034	686,737	2,900	—	689,638
セグメント利益又は損失(△)	44,286	20,645	64,932	2,343	△75,485	△8,208

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,485千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。